

とちぎ県民の消費

～多様で豊かな内容～

本県の1世帯当たり1か月の平均消費支出は、平成16年全国消費実態調査によると、全国4位と多いことがわかります。

具体的に他の県と比べて支出額が多いものをいくつかあげてみます。

まず、交通関係費については、自動車維持費が全国5位、このうち自動車整備費が全国1位、ガソリン代は全国4位となっています。

次に、通信関係費については、特に移動電話通信料が多く全国1位です。これはパソコン購入費が全国6位であることや、携帯電話の普及率が全国2位であることが要因と考えられます。

さらに、教養娯楽費については、特に教養娯楽用品のうちスポーツ用品やペットフード代が全国1位、教養娯楽サービスのうち宿泊料、遊園地入場・乗り物代が全国1位となっています。

また、耐久消費財の普及率をみると、ピアノの普及率は全国1位、ゴルフ用品の普及率も全国1位と高くなっています。

このように県民の消費行動は、世帯全体での収入が全国6位と高いことを要因として、趣味や教養など生活を楽しむために、様々な内容で多様な支出をしています。

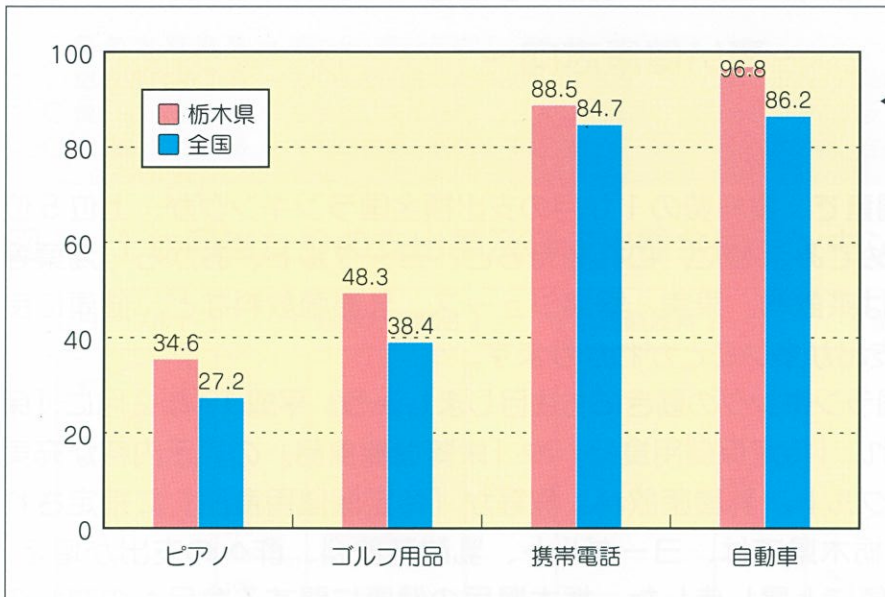
	指標名	指標値	順位	全国
1	1世帯当たり1か月の平均消費支出	342,814円	4位	320,063円
2	携帯電話の普及率	88.5%	2位	84.7%
3	教養娯楽用品(1か月)	7,915円	2位	6,649円
4	教養娯楽用品のうちペットフード(1か月)	671円	1位	529円
5	宿泊料(1か月)	2,274円	1位	1,622円
6	遊園地入場・乗り物代(1か月)	308円	1位	182円
7	世帯全体の過去1年間の収入	7,615,000円	6位	7,007,000円

※1～7平成16年全国消費実態調査〔二人以上の世帯・全世帯〕(総務省統計局)

用語の解説

「全国消費実態調査」は世帯を対象として、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財や住宅などの家計資産を調査し、地域別、世帯属性別等に消費・所得や資産の水準、分布を明らかにするための調査です。調査は5年毎に実施され、前回は平成16年に、県内22市町921世帯を抽出し調査しました。

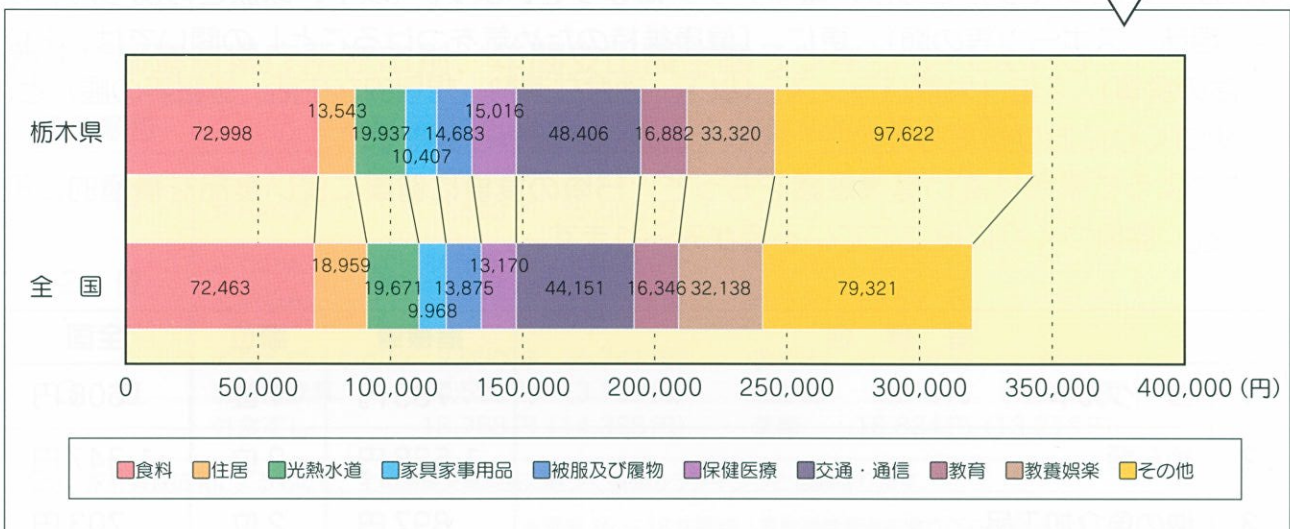
図1 本県と全国平均の普及率 (%)



普及率が高いのはピアノ（1位）、ゴルフ用品（1位）携帯電話（2位）、自動車（2位）などでした。

その他には、こづかい・交際費・理美容費、仕送り金などが含まれます。

図2 本県と全国平均の消費支出の内訳



※図1・2 平成16年全国消費実態調査【二人以上の世帯・全世帯】（総務省統計局）

トピックス

－ 形のある資産が多い －

本県の1世帯当たりの家計資産は、4,212万円で全国8位（全国平均3,900万円）でした。内訳をみると、金融資産は1,051万円で全国19位ですが、住宅・宅地資産が2,966万円で全国9位、耐久消費財等が196万円で全国7位となっており、上位の要因になっています。また、負債現在高は493万円（全国平均584万円）で、負債額の年収に対する比率は64.8%（全国平均83.4%）と低く、本県の世帯は、できるだけ負債を抑えて、住宅・宅地・耐久消費財などの形のある資産を増やしていることがわかります。

※平成16年全国消費実態調査【二人以上の世帯・全世帯】（総務省統計局）